

製品名: 4E-BP1 (リン酸化 Thr69) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04185**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | リン酸化 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000 |
| 分子量 | 12kDa |

抗原情報

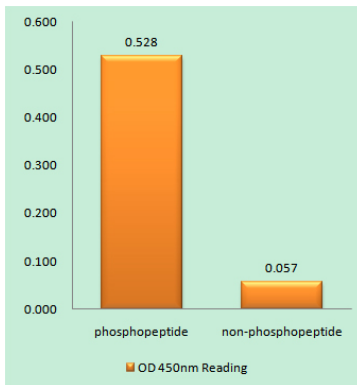
| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | EIF4EBP1 |
| 別名 | EIF4EBP1; Eukaryotic translation initiation factor 4E-binding protein 1; 4E-BP1; eIF4E-binding protein 1; Phosphorylated heat- and acid-stable protein regulated by insulin 1; PHAS-I |
| 遺伝子 ID | 116636.0 |
| SwissProt ID | Q62622 |
| 免疫原 | 抗血清は、マウス 4E-BP1 の Thr69 のリン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 35-84 |

背景

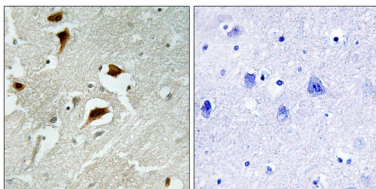
EIF4EBP1 は、翻訳抑制タンパク質ファミリーのメンバーの1つをコードしています。真核生物翻訳開始因子 4E 結合タンパク質 1 は、真核生物翻訳開始因子 4E (eIF4E) と直接相互作用します。eIF4E は、40S リボソームサブユニットを mRNA の 5'末端にリクルートする多サブユニット複合体の制限因子です。このタンパク質と eIF4E の相互作用は、複合体の組み立てを阻害し、翻訳を抑制します。このタンパク質は、紫外線照射やインスリンシグナル伝達などの様々なシグナルに応答してリン酸化され、eIF4E から解離して mRNA の翻訳を活性化します。

研究分野

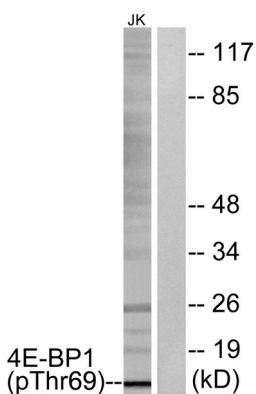
画像データ



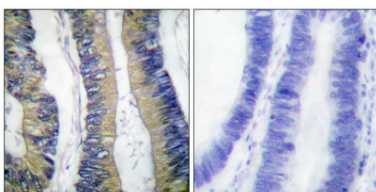
4E-BP1 (リン酸化 Thr69) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定 (リン酸化 ELISA)



4E-BP1 (リン酸化 Thr69) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



EGF 200 ng/ml 30 μ l で処理した Jurkat 細胞ライセートの 4E-BP1 (リン酸化 Thr69) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



パラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4 $^{\circ}$ C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。